

日野稲門会報

第26号

日野稲門会
ホームページ
http://www.hinotomonkai.org/
★
〔事務局〕
日野市南平1-34-11-402
生川方
☎042-593-7290
事務局長：生川 博
編集責任者：高橋 敏夫

《ご挨拶》

拡大する

近隣稲門会との交流

日野稲門会々長 山内 治男

(35・教育)



日野稲門会の皆様、ご壮健にてお過ごしのことと思います。

昨年は総会と懇親会を立川グランドホテルで開催し、総勢51人の方々のご出席を頂きました。

昨年の総会には、来賓として、早稲田大学地域担当副部長の村上裕二氏、近隣6稲門会皆様のご参加を頂き、それぞれの議案が審議され、ご承認頂きました。



昨年の総会会場風景 (立川グランドホテルにて)



懇親会では母校野球部の高橋広監督 (左から4人目)と記念撮影

第2部として、「立川断層本当にあるのか?」と題して、工学博士野尻明美氏のご講演を頂きました。身近で関心の深いテーマであり好評でした。第3部の懇親会では、お互いの親睦を更に深めました。私も日野稲門会の会長に就任してから、4期8年になります。就任時、幾つか取り組むべき課題がありました。会の活性化と執行体制

の強化、近隣稲門会との交流拡大、財政の健全化問題です。執行体制の強化については、副会長会の設置と4部会の設置により、今後より機能的な運営が出来るものと確信しております。

同好部会、交流部会、組織部会、広報部会の4部会の内、これからは、一般会員の交流を促進する交流部会と、新規会員の獲得を目指す組織部会の充実化が望まれます。

近隣稲門会は、今年度の総会を機に、南ブロック内の7稲門会すべてと交流することが出来ると思います。財政問題は、一昨年の総会で会費改定のご承認を頂きましたが、今年度は新たに、校友会組織強化補助費の申請をし、財政健全化に向けて努力します。

これからも当会の活動に對しまして、皆様の深いご理解と一層のご協力をお願い申し上げます。

稲門祭 NEWS

WASEDA ALUMNI SINCE 1885

「稲門祭」は、ホームカミングデーと同じに行われる、校友が母校で楽しむことができる祭典です。校友の音楽祭、講演会、パレードなどのイベントや模擬店などで賑わいます。どなたでも参加できますので、ぜひお出かけください。

《とき》10月23日(日) 12時～

《ところ》早大早稲田キャンパス

日野稲門会では、今年も魅力あふれる稲門祭記念品を事前販売しています。この収益金の全額が、校友会奨学金になります。皆さんの温かいご支援をお願いいたします。

【問い合わせ先】玉木 ☎042-584-0592

■新会員募集■

日野稲門会では、新会員を募集しています。皆さんの知り合いの校友で、また当会に入会されていない方々に、同好会や総会への参加を呼びかけ、お誘い合わせのうえ、お出かけください。入会を希望される方は、事務局または各同好会の幹事までご連絡ください。

【年会費】3千円 【入会金】無料

第37回 総会・懇親会のご案内

日時 平成28年6月19日(日)
午前11時より
(受付 午前10時30分より)

会場 立川グランドホテル
(立川市曙町2・14・16)
立川駅北口より2分
☎042・525・1121(代表)

会費 6千円(会場で徴収)

《第1部》総会(11時より)
・会長挨拶(山内治男)
・来賓挨拶(早稲田大学)
主な議題
①平成27年度事業報告
会計報告

《第2部》講演(12時より)
・講師 青木 孝則氏
(日野稲門会会員)
・演題 「日野市で快適に生活する方法」食と生きこみ
処理を中心に」

《第3部》懇親会(13時より)
・乾杯・来賓挨拶
・コンサート 日野混声合唱団
・新入生歓迎会
・歓談・校歌

今年度の行事予定

5月12日	男の料理同好会
5月25日	ハイキング同好会
6月4日	春のゴルフ同好会
6月18日	早慶戦を応援する会
6月19日	第37回 総会・懇親会
9月8日	男の料理同好会
9月15日	ハイキング同好会
10月7日	秋のゴルフ同好会
10月15日	稲門祭
11月6日	早慶戦を応援する会
11月29日	日野荒ぶる会(白帯戦)
12月10日	男の料理同好会
12月20日	バードウォッチング会
12月26日	三多摩支部大会
12月27日	日野荒ぶる会(早慶戦)
12月28日	ハイキング同好会
12月31日	日野荒ぶる会(早明戦)
1月1日	(日は未定)
1月12日	日野荒ぶる会(大学選手権)
1月12日	男の料理同好会
3月9日	男の料理同好会
3月中旬	バードウォッチング会
3月中旬	ハイキング同好会
3月16日	ハイキング同好会

※日野稲門会は毎月3土曜日に歌う会は毎月1水曜日に、テニス同好会は毎週火曜日に、スキーツ同好会は1月と2月(日は未定)に源氏物語を読む会は毎月最終木曜日(原則)に開催されます。

※各日程は、変更される場合があります。

※総会は、原則として、毎年6月第3日曜日の開催です。

同好会・行事だより

各サークルの活動報告

早慶戦を

応援する会

幹事 加藤 義人
(平成13・社会学)

早稲田の卒業生の中で、早大生時代に経験した共通の体験として最も多いのが神宮での六大学野球の早慶戦観戦ではないでしょうか。試合前からの両校による応援合戦や「早慶讃歌」の合唱の光景は今もなお変わらず、毎年、幅広い年代の早慶卒業生が神宮に集まります。「ワセダ」という唯一の共通点

をもって、世代を超えて見ず知らずの老若男女が、ハイタッチをし、肩組みながら「紺碧の空」を歌って喜ぶことができるのが、昔も今も変わらない早慶戦です。



応援席で母校に声援を送る会員
(昨年秋の早慶1回戦)

日野稲石会 (囲碁)

幹事 大高 秀樹
(43・理工)

当会では毎月第三土曜日の午後1時よりJR豊田駅北口の「勤労青年会館」で例会を行い、毎回2、3局の対戦を楽しんでおります。そのほか国立、多摩、調布などの稲門会の囲碁同好会から大会への誘いもあり、有志で参加をしております。親睦を深めるのが目的ですが、最後は勝ち負けを決めるゲームなので真剣に対戦し、お互いにまた次の健闘を誓ってお開

きとなります。

昨年は荒谷氏が新しくメンバーに加わりました。「今まで実戦の経験が少ないので…」との言葉を真に受けて対戦し、痛い目にあった人は私以外にもいると思います。もう少し強くなりたいとみんな楽しんでながら頑張っております。囲碁に興味のある方、一緒に楽しみましょう、御連絡ください。
【連絡先】大高 ☎581・5378

「早慶戦を見ずして、早大卒と言つなかれ」との感さえあります。早慶戦を応援する会では、春秋の早慶1回戦を観戦し、試合後に近くの蕎麦屋で懇親会を開いています。多くの皆様と勝利の美酒に酔いしれながら、早稲田愛を再確認致しましょう。

【連絡先】加藤 ☎090・8008・6571

日野荒ぶる会 (ラグビー)

幹事 杉本 武彦
(43・理工)

当会では毎年、早帝、早慶、早明3戦の応援と、ラグビー資料館での元全日本ラガーを囲む会を主に活動しています。

当会会員でラグビー部OB、佐藤氏のご厚意によるグラウンド中央の見やすい席での解説付き観戦は毎回好評を博しています。又、福地氏のお力添えによるラグビー資料館の集いでは、第3回目は本城氏(現全日本7人制ラグビー監督)、第4回目は吉野氏と、共に往年の早稲田を沸かせた名ラガーを囲んでの大変楽しく貴重な会となっております(詳しくは前会報参照)。

当会は、今は市外にお住まいの方も多数行事に参加されています。試合観戦、資料館共会員以外の方も大歓迎、気軽にご参加下さい。

歌う会(カラオケ)

幹事 早川 圭典
(36・政経)

今年で設立14年となる当会は、同好会の中でも古参に入る。現況は、会員数16名、例会は毎月第一水曜日12時から16時まで、三沢にあるカラオケスナックを1人1200円で貸切りで行っており、参加人数は13人程度、1人5曲前後歌っている。当会の特徴は、歌唱力のレベルがかなり高いこと、歌謡曲(但し演歌は僅か)の他、シ

今後は近隣稲門会との交流を図りながら早稲田ラグビーの応援を続けたいと思います。
【連絡先】杉本 ☎583・6101

ハイキング同好会

幹事 松島 正明
(43・産専)

当会は同好会発足から70回を超える回数を重ねて来ましたが会員の高齢化にともない年々会員数が減ってきており、実施コースも本格的な登山と近場で気軽に行けるハイキングを混ぜながら年間4回開催しています。

現役会員も少なくなり昨年からは4回の内2回は土曜日、2回は木曜日に変更しました。
昨年度は5月に奥武蔵の「伊豆ヶ岳」9月は「八王子城跡から富士見台」11月は「城山から高尾

ヤズ、シャンソン、タンゴなどレパートリーが広いこと、それに酒をよく飲むことなどである。なおカラオケは高齢者で多少足腰に支障があっても椅子に座って歌えるし、ある脳学者によるとストレスが発散されて血圧が下がり、また脳の活性化や心肺機能の強化にも効果があるそうである。
【連絡先】早川 ☎593・4871

山」3月は「多摩丘陵の公園を巡るハイキング」を実施しました。ハイキングは綺麗な空気と登頂時の達成感、自然を満喫し、その後の親睦のアフターも楽しめます。今年度も年間4回実施する予定で計画しております。

当会では4〜5時間程度のウォーキングが可能な方なら何時でも大歓迎です。皆さんも山歩きを楽しんでみませんか。
【連絡先】松島 ☎591・9747



昨年11月のハイキングにて
(城山・高尾山ハイク)

テニス同好会

幹事 小笠原 豊
(40・政経)

冷たい風が五感を揺さぶり、顔が痛い。手もかじかみボールも上手くコントロール出来ない。

これが朝八時から始まるテニスの練習風景だ。昨年12月から多摩平コートが人工芝に生まれ変わる工事で使用禁止。やむなく旭が丘コートに移動。早朝練習でも皆参加して来るのはテニスが楽しいからだ。練習試合が始まる頃には徐々に体がほぐれボールを追う姿も躍動感に溢れる。コートは笑い笑顔に満ちてくる。今日は練習後、新しく出来た「かこの屋」で新年会だ。個室で一息つくと普段コートで耳にしない話題が飛び交う。呑むほどによいよお国自慢の話に花が咲く。仲間たちの遠い

男の料理教室

幹事 小笠原 豊
(40・政経)

男の料理がスタートして1年が経ち、その間蕎麦打ちを含め7回開催された。毎回10名程の参加がある中3名の女性講師から手ほどきを受けている。今迄に作った料理を紹介しよう。①豚汁・卵焼②茶巾寿司・白玉ダンゴ③春巻き④鮭のごぼうソース・かぼちゃのサラダ⑤皮も手作りの餃子⑥パラパラ焼飯と煮込みハンバーグなどである。三グループに分かれ、

ほぼ同時に作り終え食事が始まる。ここにきて包丁捌きが上手くなってきた」と講師の弁。経験の無い男性にとって料理は面倒で取っ付きにくいと思われるが、しかしやってみると意外と楽しいもの。長年食事作りの妻にいつも有難うと感謝しつつ、学んだ料理をふいに作ってあげると妻も喜ぶもの。さあ男性の皆さん料理を始めよう。
【連絡先】 松島 ☎591・9747

昔の話は抵抗感無く耳に心地よい。テニスを通じ元気で楽しく親睦を計り少しでも健康寿命を延ばせるならばこんな喜ばしいことはない。
【連絡先】 小笠原 ☎583・5532

ゴルフ同好会

幹事 永山 肇
(40・理工)

ゴルフ同好会は、春と秋の年2回コンペを開催しています。以前はバスを仕立て、軍中で表彰式や懇親会を行い、和気あいあいと盛り上がりを見せていましたが、参加人数の減少もあり、前回からは近隣のゴルフ場で開催し、現地集合、現地解散の方法をとるようになりました。八王子早稲田会からの応援参加者はスコア重視のスタイルのようですが、日野稲門会の皆さんは、プレーもそうですがむ

しろ懇親会を楽しむために参加されているようです。
現在の会員数は女性会員4名を含め30名程です。健康のためにちよっとスポーツをしたい方の飛び入りも歓迎しています。是非一緒にゴルフを楽しみませんか。ご夫婦での参加も大歓迎です。今年は春が立川国際カントリー倶楽部、秋がGMG八王子ゴルフ場で開催の予定です。
【連絡先】 永山 ☎581・1920



スタート前に参加者全員で記念撮影 (昨年10月のGMG八王子ゴルフ場にて)

スキー同好会

幹事 高橋 敏夫
(40・理工)

スキー同好会がスタートして2シーズンが経過した。昨年、今年とも、白馬八方尾根と奥志賀高原に2泊3日のスキー旅行を行い計4回のスキー旅行を開催して好評を得た。毎回の参加人数は、7名前後である。ほぼ全員が70歳以上のスキーヤーであるが、白馬八方

バードウォッチング会

幹事 阪本 昭夫
(37・教育)

好天に恵まれた3月18日、11名の会員が、多摩モノレール・万願寺駅前に集合して開催された。多摩川右岸に出た所で、粕谷和夫講師から「双眼鏡の正しい使い方」について説明があった。

スタートしてすぐに、目の前のグラウンドで、歩いては胸をはるツグミの姿を目にする。また、はるか上空にはヒバリが舞い、近くの雑木林からは、ウグイスの声が聞こえ、まさに春たけなわの感じ。1時間半ほど歩くと、日野橋の川面に、カルガモ、オオバン、コ



多摩川右岸で観察する会員

【連絡先】 玉木 ☎584・0592

尾根では、標高最高部の八方池山荘からのダウンヒルを、奥志賀では、奥志賀から群馬県との県境にある横手山までのツアーを楽しんだり、1か所のゲレンデに留まらずあちこちを動き回っている。泊りの同好会であるので夜の宴会は大いに盛り上がる。ついつい飲み過ぎるが家に帰る心配がないので気分も最高。宴会の最後は、



白馬・八方尾根スキー場での記念撮影

第18回 収穫祭

校歌、早稲田の栄光を斉唱して締めくくることが恒例となった。天気の良い日に白銀のゲレンデでスキーを楽しむのは最高ですよ。若い方も是非一緒にしましょう。
【連絡先】 高橋 ☎591・6811

家族と一緒に楽しめる行事として好評の「収穫祭」(芋掘り会)が、今年も左記のように開催されます。皆さんお誘い合わせのうえ、ご参加ください。
【日時】 10月15日(土)
午前10時より

【場所】 日野市役所駐車場北
【参加費】 無料
【問い合わせ先】 小笠原 豊
☎583・5532

■会員だより

七生丘陵を遊ぶ

ハイキングコースに野草や野鳥を追う

杉村 眞 (44・文)



カスマグサ
カラスノエンドウとスズメノエンドウの間の性格を持つため、この名が付いたと言われる。

日野市の浅川を挟んだ南側部分で七つの村が合併してまず七生村となり、さらに日野町と合わさって日野市が誕生したと聞く。現在七生村は再び七つの町に分かれて存続している。

さて、この七生村の南側部分が小高い丘陵となっていて、七生丘陵と呼ばれている。しかし、東京で育った我々の世代では、多摩の野猿街道のほうが分かりが良いの

かもしれない。聖蹟桜ヶ丘から平山城址公園を抜けて八王子まで、小学校の遠足で行ったよと言われ方は意外に多い。この懐かしの野猿峠も昭和三十年代の末頃から始まった宅地開発の波を受けて、ハイキングコースは分断され、昔の面影はなくなってしまった。

しかし、しかしである。分断されてはいるが、ハイキングコースはしっかり残っている。この残っ

た部分が、いまの僕らの遊び場である。あきらめることはない。日野にはまだまだ自然が残っている。年をとると子供に帰るとはよく聞く言葉である。実際にボランティア活動をしている人たちを見てると、この言葉が実感できる。

皆が生き生きとしている。捕虫網を持って走り回っている人もいれば、カメラを持って鳥を追い続け

■新同好会だより

源氏物語を読む会

幹事 玉木 雅治 (48・教育)

す」という笑いあり。

この会は源氏物語を原文(活字テキスト)で読んでいきます。久保講師は「古文は日本語です。ゆつくり読んでいけば必ず判ります」ときっぱり。講座もその通りで、じんわり染み通るようです。

メンバーは日野稲門会を中心に近隣の方を含め二十数人が集まりました。「全国の稲門会で、源氏物語を長期間にわたり読む会はおそらく、日野だけでしょう」と大先輩関係者は言いますが、これから



多摩平交流センターでの講義風景

もじっくり読む方針です。途中から合流希望者、大歓迎です。
【連絡先】玉木 ☎584・0592

る人もいる。野草の撮影を趣味とする僕もその一人である。この辺りで子供時代を過ごした人が、住宅地を歩きながら、「この辺は一带が全て水田だったんだよね、ああ、そうそう彼処に米軍の飛行機が落ちてね、大騒ぎになったこともあるんだ」とか、「この辺りにはツグミが多くいて、竹竿を水平にして鳥もちをくつつけておくとツグミが逆さになって翼をバタバタさせているのを捕まえたものだ」など、興味深い話をしてくれる。「アッ! スズメノエンドウだ」。

「スズメノエンドウに絡まっているあの草はなんだったかなあ」「ええと、カスマグサじゃない」なんて会話も、近年とみに忘却力(?)が良くなり草の名が出てこなくなった僕にはとてもありがた

「三多摩支部大会」のご案内

今年度の三多摩支部大会が、あきる野稲門会、福生稲門会を主幹稲門会として11月20日(予定)に開催されます。

参加ご希望の方は、事務局までご連絡下さい。事務局でまとめて申込みを致します。

詳細は別途ご案内致します。
☎593・7290 生川なまがわ

【年会費納入のお願い】

会員の皆様からお預かりしました年会費は、日野稲門会主催のイベントや同好会への補助、校友会事業等への参画など、当会の事業を展開する中で運用させていただきます。

つきましては、このような事情をご理解いただきまして、今年度もお早めに会費をご納入下さいませようお願い致します。

(事務局)

◆会員の動き

【新入会員】

- 海老根邦夫 昭46 法学
- 荒谷 英幸 昭44 工研修・建設
- 上野 要平 平24 社会学
- 宮本 誠二 昭48 政経・経済
- 堀内 眞吾 昭42 文学・哲学
- 上田 実 昭46 理工・機械
- 小林 知子 昭57 文学・日文
- 千葉 理枝 昭60 専攻・国文

【退会会員】

- 鶴野 勝雄 下重 喜代
- 花曲 登 八木 祥子
- 石川三重子 村野 利男
- 西海智恵子 長谷川成海
- 窪川 一男 斎藤 亮太
- 橋本 正明

【編集後記】

毎年、新同好会が誕生し、その案内を載せますので紙面が賑わい嬉しい悲鳴を上げています。数多い同好会には是非ご参加ください

(た)